

脳卒中

時間が勝負、症状に気づいたら
迷わず救急車！



脳卒中、急になるからすぐわかる！

動かぬ、話せぬ、脳梗塞

ノウソクセン

脈が乱れる脳塞栓

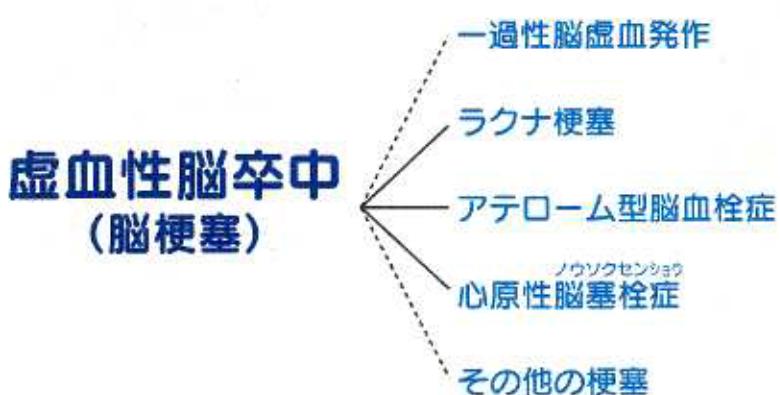
頭痛とマヒは、脳出血

頭痛と嘔吐は、クモ膜下

とにかく相談かかりつけ

急いで呼ぼう救急車

* 脳卒中とは、脳の出血（脳血管が破れる）や虚血（血流が悪くなる）によって急に障害を起こすことをいいます。



次のような症状が突然起こって 治らない時は脳卒中と思って下さい

脳卒中のよくある症状

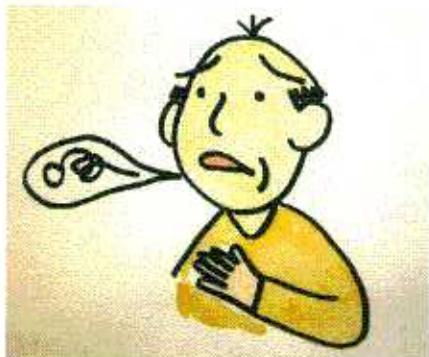
生まれて初めてのはげしい頭痛と
吐き気が突然おこる



急に手足の力が弱くなったり、
感覚が無くなる



はっきり話せない、簡単なことが
理解できない



急に物が見えにくくなる
(片目あるいは両目)



急にバランスを失って
歩けない、
動作がスムーズにできない



緊急の処置が必要です！
すぐに救急車を呼んでください



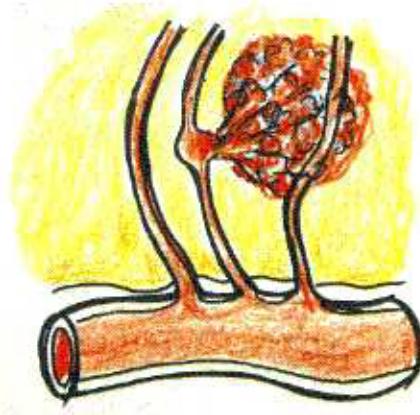
**急になるからすぐわかる
激しい頭痛は出血だ
手足が動かぬ、脳出血
嘔吐を伴う、クモ膜下**

脳出血はいつ起こるのですか？

突然起ります。日中活動しているとき、興奮したとき、飲酒後やトイレなどで起ります。しばしば頭痛を伴います。

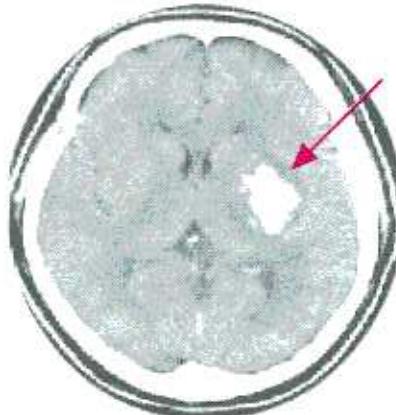
どこの血管が切れるのですか？

脳の内を走る太さ1mm以下の血管が破れます。



どんな検査でわかりますか？

CT検査で白く見えるところが出血です。

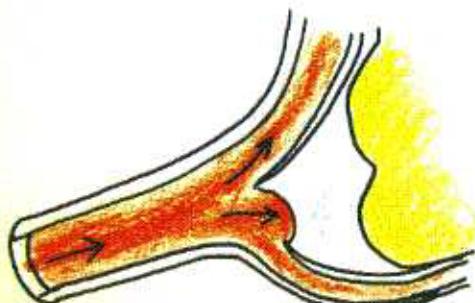


[一口メモ]

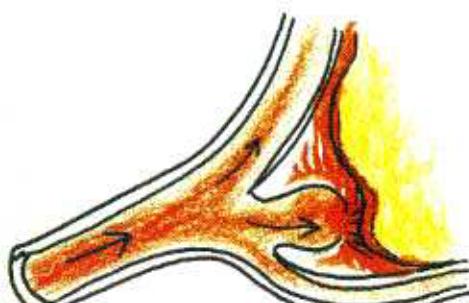
出血する場所によって症状は違いますが、半数以上の方は片側の手足の運動マヒが起ります。高血圧が主な原因です。

脳動脈瘤とはどんな病気ですか？

脳動脈瘤は、動脈の分かれ目に長期間、血圧がかかり血管の壁が徐々に膨らんで「瘤」のようになります。破裂してクモ膜下腔に出血します。破裂するまでは無症状です。



徐々に膨らんで大きくなります。

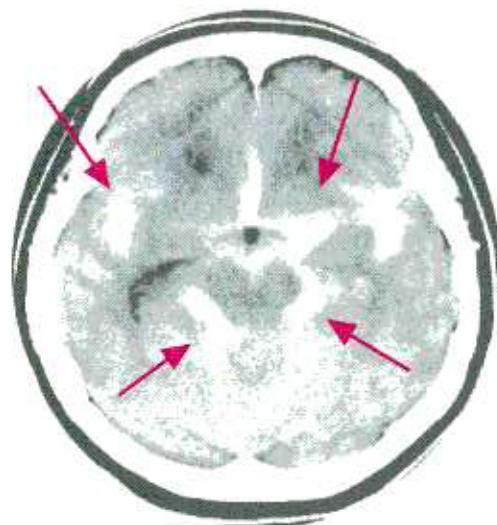


クモ膜下腔に出血します。

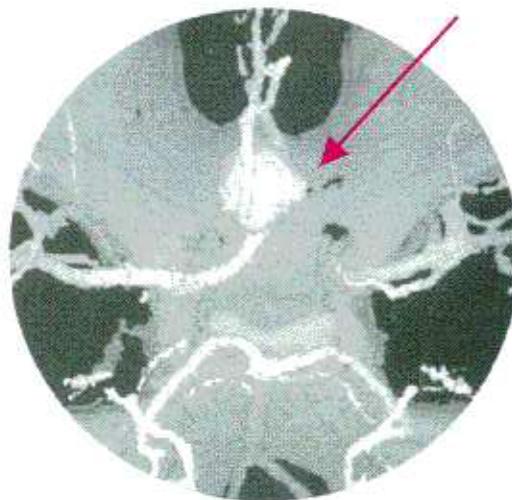
破裂するとどうなりますか？

破裂すると約50%の方は最初の出血で死亡します。その後も再出血が起こり25~30%の方が亡くなります。

手術をおこなうと12~15%の方が助かります。



白く見えるところがクモ膜下出血です。



丸く見える「瘤」が脳動脈瘤です。

【一口メモ】

肉親にクモ膜下出血を起こした人がいる場合は、いない人に比べて約4倍の高率で脳動脈瘤が発見されます。遺伝的な要素があると考えられています。

とにかく急げ、3時間

手足が動かぬ、脳梗塞 脈も乱れる、脳塞栓

治療遅れて後遺症

脳梗塞はいつ起こるのですか？

突然起ります。朝起きたときに気づくこともあります。しばしば段階的に症状が悪化します。

不整脈を感じることがあります。通常、激しい頭痛はありません。

脳梗塞とはどんな病気ですか？

脳の血管が細くなったり、詰まつたりして、脳へ行く血流が減ったり、途絶えたり（虚血）するために、血液によって運ばれていた酸素とブドウ糖などのエネルギー源が途絶え、神経細胞が障害を受けて、脳が機能を失うことを脳梗塞といいます。

【一口メモ】

脳梗塞と最も関係しているのは、年令です。つまり年をとれば誰でも脳梗塞になる可能性があるのです。特に高血圧は脳梗塞の危険因子です。時々血圧を測定しましょう。

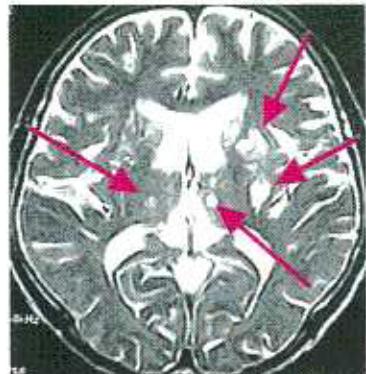
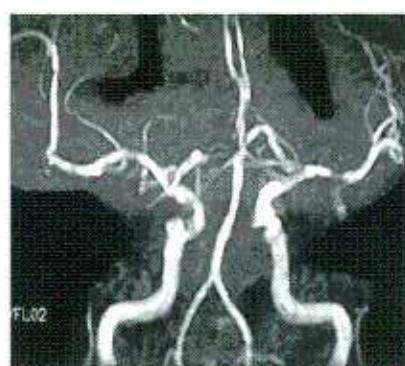
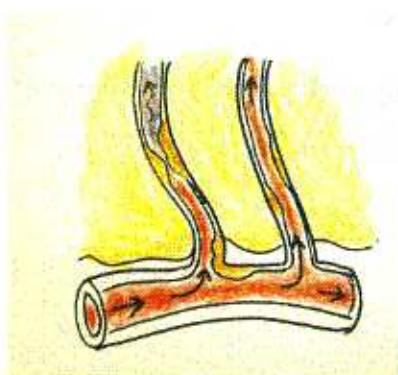
【一口メモ】

脳梗塞の治療開始は3時間以内が最も有効です。症状が出たら直ぐにかかりつけ医に相談するか、救急車で病院へ行きましょう。

脳梗塞にはどんな種類がありますか？

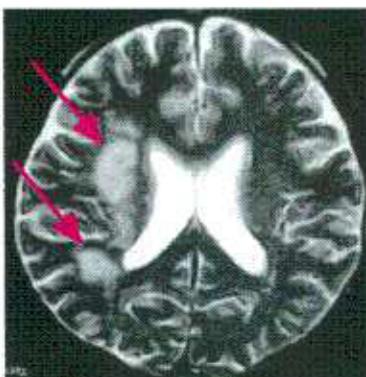
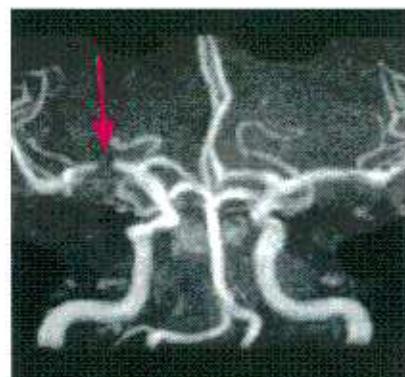
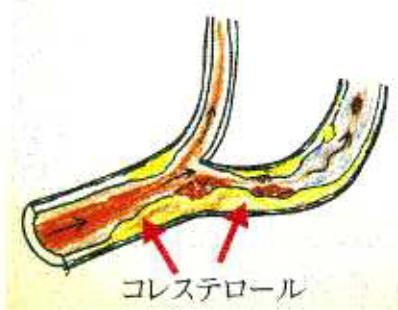
○ラクナ梗塞

脳内の細い脳動脈（1mm以下）がつまって、小さい梗塞を作ります。



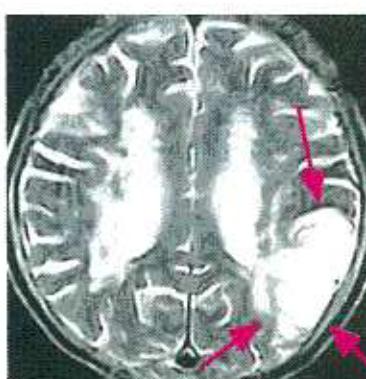
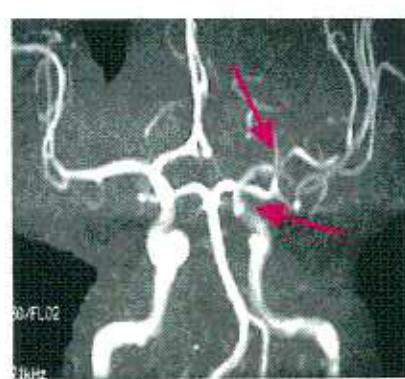
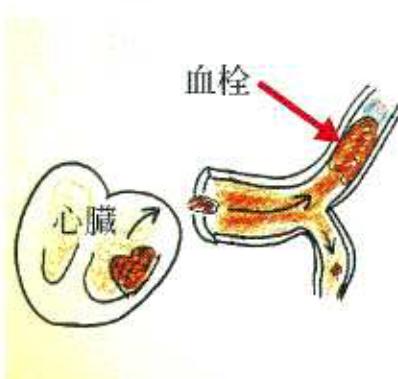
○アテローム型脳血栓症

太い脳動脈が動脈硬化によって細くなったり、詰まってしまいます。



○心原性脳塞栓症

不整脈や心臓弁膜疾患によって心臓や血管内でできた血栓が流れてきて、脳血管に栓をしてしまいます。



【一言メモ】

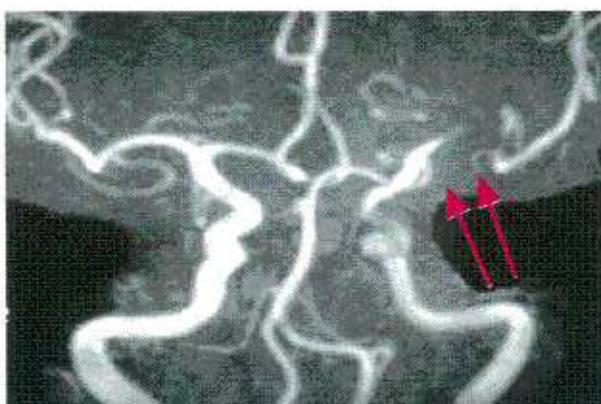
一過性脳虚血発作とは、急に軽い脳卒中症状が出現し、多くは15分以内、長くても24時間以内には完全によくなる発作です。
50～70%は将来脳梗塞を起こすため、前ぶれと考えられます。

元気でも、健診、ドックを忘れずに 脳も検査で一安心

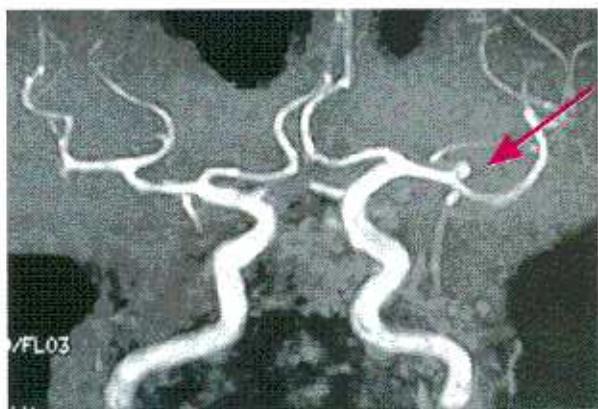
健診、人間ドックは、生活習慣病を早期発見し、脳卒中の発症を予防します。

脳ドックではなにがわかるのですか？

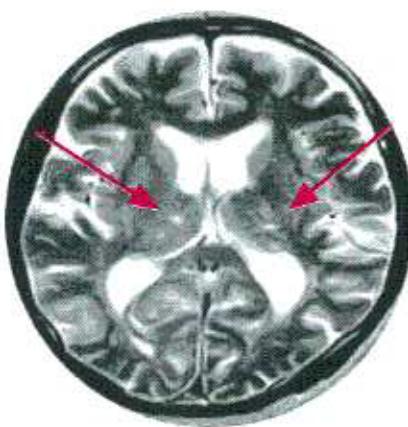
主にMR検査を行い、発症前に病気を発見します。
脳動脈の狭窄・閉塞、脳動脈瘤、症状のない脳梗塞や脳腫瘍を発見できます。



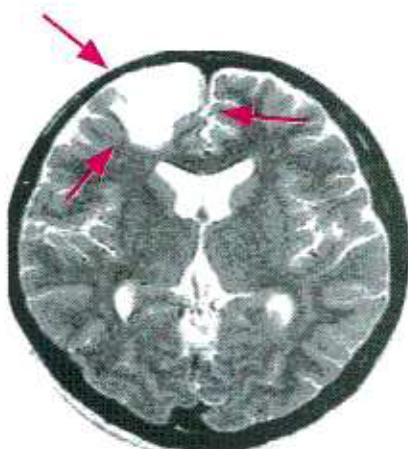
脳動脈の狭窄・閉塞



脳動脈瘤



症状のない脳梗塞



脳腫瘍

【一口メモ】

脳ドックを受けた人での発見率

脳動脈の狭窄・閉塞：約3%
症状のない脳梗塞：約3%

脳動脈瘤：約8%
脳腫瘍：約2%

脳ドックで発見される脳の病気について

○脳動脈の狭窄・閉塞

血圧の低下や血液粘度の上昇などで脳梗塞を起こすため、更に脳血流検査が必要です。

脳血流がそれほど低下していなければ、生活習慣病の治療と、抗血小板剤*で治療しますが、極端に低下している場合は、手術が必要になることもあります。

○脳動脈瘤

大きさ、形を正確に知るために更に脳血管検査が必要です。

全ての脳動脈瘤が高頻度に出血するわけではありませんが、破裂するとクモ膜下出血を起こし緊急手術が必要となります。大きさが5mm以上で、内頸動脈系にあり、70才以下であればおむね手術をした方が良い（脳ドックガイドラインから）と考えられています。その他の場合は経過観察します。

○症状のない脳梗塞

生活習慣病や脳動脈の異常を伴っている時は脳梗塞の前段階と考えられています。

生活習慣病の治療が原則ですが、脳動脈の異常が強い場合は、抗血小板剤*で脳梗塞の予防をします。

○脳腫瘍

大きさ、発生している場所、腫瘍の種類によって治療法が異なります。手術だけでなく放射線治療も安全に行われています。場合によっては経過観察します。

【一口メモ】

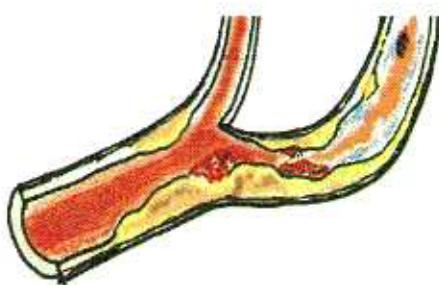
血小板は血栓ができるとき最初に固まる成分で、抗血小板剤*は、この血小板の働きを抑え、血栓を作りにくくします。

脳卒中、予防は生活改善だ！

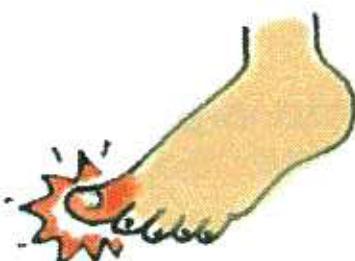
高血圧



高コレステロール



痛風



糖尿病



心臓病

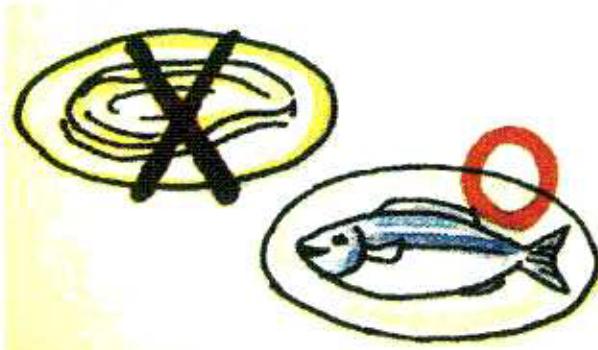


【一口メモ】

高血圧、糖尿病、高コレステロール、痛風は動脈硬化を進行させて、脳卒中を起こします。心臓病のうち心房細動、不整脈は脳塞栓症の原因になります。

生活習慣の改善が基本！

塩分、コレステロールを減らす



脱水注意



飲酒は少なめ



禁 煙



温度差を少なく



ストレス解消



肥満の改善



欠かさず運動



死亡統計から見た脳卒中

(平成10年人口動態統計から、総死亡数936,484人)

第1位 悪性新生物(がん) 30.3%

第2位 心疾患(高血圧除く) 15.5%

* 第3位 脳卒中 14.7%

脳卒中死亡の内訳

